

今回は、感謝の気持ちに関する文を紹介します

私が講演したときのことで。講演中私が白板に板書した文字をタイミングよく消してくれる人がいました。消してもらうたびに、私が軽く会釈して感謝の意を表していたのです。その所作を見ていた参加者の感想文に書いてあったのが次の一文です。

「講演の内容もよかったです。文字を消される人にいちいちお礼を言っておられた鍵山さんの姿に感動しました」

この感想文を読んだとき「小さなことに大きく感謝する」ことが、いかに大きな力なのかということに再認識しました。たしかに大きなことにはだれもが感謝します。しかし、小さなこととなると、ほとんどの人が軽くあしらいがちです。小さなことに感謝できない人は、どうしても不平不満だけが大きくなります。その結果、小さな困難をますます大きくする傾向があります。反対に小さなことに大きく感謝できる人は、大きな困難を小さく受け止めることができるようになります。

感謝の念には、困難を和らげる効果があるからです。だからこそ幸せな人生を送るためには、小さなことに大きく感謝できる感受性豊かな人間になることが何よりも大切なことなのです。

【人の心に灯をともし】 <http://merumo.ne.jp/00564226.html> より

人は大きなことには感謝できるが、小さなことにはなかなか感謝できない。例えば「命を助けてもらった」等の大きなことには誰もが感謝するが、レストランで、お水を注いでもらったり、料理を運んできてもらったりした時に「ありがとう」という人は少ない。些細なことだから、当たり前のことだから、金を払っている客だからと思っている人はなかなか感謝しない。大事なことは、人はその小さな行為をよく見ていることだ。そして、そのことで大きく評価が上がったり下がったりもする。小さなことや当たり前のことに感謝できる人は「下座（げざ）」の心がある人だ。下座とは

“どんなに実力があろうがはるかに下の位置に座るといふ謙虚な心であり自らの高慢を戒める行いのこと”を言う。小さなことに大きく感謝できる人でありたい。

Q 1 : 下座とはどういう事ですか？

A 1 : ()

Q 2 : 自分が感じた小さなことに大きく感謝できる事は何かありますか？

A 2 : ()